

「羽包み（はくくみ）」

第21号 令和4年12月1日発行

自立援助ホーム「湘南つばさの家」

〒253-0022 神奈川県茅ヶ崎市松浪 1-12-17

TEL・FAX 0467-58-6260 shonan-tsubasa@marble.ocn.ne.jp

〔郵便局での振込みは〕 ゆうちょ銀行 振替口座 00200-5-81277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

〔銀行からの振込みは〕 ゆうちょ銀行 店名：029 当座 0081277 自立援助ホーム 湘南つばさの家

次代に生きた証を

ホーム長 前川 礼彦

この世の務めに、徳を積むということがあるのなら、この世は何層にも分かれていて、近い領域の徳を持ち合わせた人々が集まるのだろうか。

類は友を呼ぶ。気の合った者や似通った者が、自然と寄り集まるという意味であるが、人のために生きることが自らの喜びや徳を積むことに繋がるのなら、きっとそれはその徳を求めて集まるからなのかもしれない。

どういう生き方をするかは、その年代によって変わってくる。意欲を込めたものが、そうでなくなり、心の声は意欲を見出さず、彷徨うこともある。興味関心があれば、そこを目指して歩めば良いが、興味関心を無くしたとき、人はどう生きれば良いか。意欲が出るまで、ただ生きれば良いのか。

一方、人生は楽しむために与えられた時間とも言われる。楽しむとはその瞬間のみ味わえる心地良さの連続体である。心地よさのみを求めては、時に間違った方向へ歩んでしまうかもしれないが、人生の意味を噛みしめながら、楽しさを求めていくのは悪くない。人生は心の持ちよう、捉え方で、これ程にないプレゼントとなり得る。

この人生の先に次のステージがある。生きる年月を重ねるほど、そう実感をする。自分がいま生きていること、その人生を俯瞰して見たとき、この世で何を獲得すべきか、つまりは人間性を磨くことや、徳を重ねること、それが出来なければまたやり直した。しかしそれすらも自由だ。どう生きるもこの人生で自由に選択して良い。

獲得出来なかったものを再び獲得するために、またこの世に舞い降りる。そう思うことで、人生の終わりが恐怖でなくなれば良い。生きることをとことん考えること。それがこの人生でやるべき一つではないだろうか。

この仕事を長くやってきた。家庭で生活出来ず、心細い思いをした少年たちの居場所を作り、もう一度人生に希望を持って欲しいと、ここまで走ってきた。人それぞれに生きる意味があり、それぞれの人生の道に生きた証を残していくのだろう。

あなたの生きた証は何か。この湘南つばさの家を応援して下さり、次代を担う少年たちの為に、少しでもお力を貸して頂くことが、生きた証になれば幸いです。

今後とも湘南つばさの家を宜しくお願い申し上げます。



ボランティア紹介

最近、多くの食事作りのボランティアさんに来て頂いています。週1回ボランティアの渡部さんには、おいしい夕食を作っていただいています。長く福祉の業界に携わり、福祉のベテランの方です。その朗らかな立ち振る舞いで、ホーム内の空気を明るくくださっています。少年たちに温かいごはんをありがとうございます。いつも感謝いたします。

「食の大切さ」

渡部 麻紀

私はこの3月まで30年間障害福祉に携わってきました。3年間だけ児童施設でも働き、現代の子どもを取り巻く家庭や社会環境など様々な問題と向き合ってきました。

この3年をきっかけにいつか子どもに関わることをやりたい！と思ったのもこの頃からだったように思います。

子どもの頃、ん〜かれこれ30年以上前にテレビで観た「広島のはっちゃん」が自宅で、今で言う「子ども食堂」的なことをやっており、沢山の子どもが自由に出入りしてご飯を食べている光景、そしてそのはっちゃんが「悪さする子は大抵お腹をすかせている」と言った言葉を今でも鮮明に覚えています。実はつい最近この方が元保護司の中本忠子さん「広島のマザーテレサ」と呼ばれていた方と教えていただきました。

私も中学の頃から料理をする環境にあったこともあり、料理が好き、子どもに関することをやりたかった思い、そしてこの広島のはっちゃんの言葉、で子ども支援をしている方と知り合い、その方に料理好きな麻紀さんだからつばさの家の食事作りボランティアをしてみたら？と声をかけていただき、8月から週一ですが夕食作りを行っています。

食べることは生きる上で基本的な営みですが、「食を通して人間としての生きる力を育む」という役割だと、今よく耳にする「食育」では言われています。そして7つの「こ食」という言葉を聞いたことがありますか？私が特に大切だと思っている「子食」「孤食」です。（大人不在で子どもだけ、1人で食事をする）この「孤食」が他の6つの「こ食」を加速させると言われています。（他6つのこ食は調べてみてくださいね）つばさの家では「共食」を大切にされています。皆で食事を囲むことで食べることの大切さや楽しさ、マナーの習得などの繋がります。

まだ作るだけで食事を共にしたことがないのですが、今後共食することで子ども達の食べる姿や好きな料理、味の好みなど知ることによって更に食事作りが楽しくなると思っています。そして食の大切さを少しでも感じてもらうこと...そして「次はこれ作って〜!!」「これ美味しかった」の聲が聞けるのを楽しみに...





スタッフ紹介

今回ご紹介する水野純一さんは、週2回泊まりの勤務に入っています。水野さんはボードゲームに詳しく、少年たちとボードゲームで遊びながら、盛り上げて下さいます。水野さんと遊んでいる時は、笑い声が絶えません。少年たちに楽しい時間を与えて下さり、感謝しています。水野さんの謙虚で真摯な姿勢に、いつも心打たれています。つばさの家に来て下さり、ありがとうございます。

迷い・悩み・考え、人生の中で試行錯誤するための時間を

水野 純一

私がつばさの家を知るきっかけになったのは、通信制の大学在学中に保育士資格を取得しようと思い、勉強している時でした。保育士の試験科目の中に社会的養護の項目があり、その中で自立援助ホームの存在を知りました。そして、つばさの家の『羽包み』を読み、ここの方たちと関わりを持って行きたいと考えるようになりました。

私は中学生の時には不登校を経験し、高校は中途退学をしています。20歳前後の頃も家族とは反りが合わず、社会の色々な物事に対して疑問を抱いており、その結果として、家を出て住み込みの仕事をしたり、行く当てのない旅に出たりしていました。

特に中学生以降の私は、大人に対しての不信感が強く、他者をあまり信用できませんでした。ですが、振り返ってみたとき、困難に直面した際に支えてくれていたのも大人や周りの人でした。そしてそれは、独りになろうとすればする程、より一層強く感じるものでした。

今の自分があの頃より幸せだと感じる基には、過去を振り返った際に、20歳前後の時期に様々な人と出会い、色々な事に迷い、悩み、考える事ができたからだと思います。そしてその余裕があり、安全に過ごせていたからだと思います。だからこそ自分も、次の世代に対してその余裕を作って行きたいと考えています。

私がつばさの家に来た際に一番感じたのは「温もり」でした。厳しい世の中で「温もり」は抛り所になります。つばさの家の「温もり」はスタッフの皆さんと入居している皆さんと一緒に作り上げているものだと思います。私もその一員になり、その中で、彼らが幸せのために迷い、悩み、考え、試行錯誤する時間を、彼らと一緒に過ごして行きたいと願っています。





ホームの様子

ホームには現在4名の少年が入居しています。今年で2人が入居し、1人が退居しました。それぞれスーパーマーケット、飲食店、清掃、ゲーム会社に勤めています。

ある少年は、先日つばさに入居して1年が経ちました。今もつばさの家の中では最年少です。入居当初より飲食店に携わりたかったのですが、中々長く時間が入れず、飲食店と販売店の2つの仕事を掛け持ちしてしていました。午前と午後で別々の仕事に就いていることもありました。やがて飲食店での仕事ぶりが評価され、長く勤務時間を入れさせて頂き、飲食店一つだけの仕事に就くことができました。最年少ながらも、毎朝だれよりも早く起きて、仕事に励んでいます。今は周りが年上ばかりなので、いずれ年下の少年が入居した時が楽しみな様です。

ある少年は今年の夏に入居しました。高校に1時間以上かけて通い、来年の大学受験に向けて勉強しています。アルバイトも土日にスーパーマーケットの仕事を頑張っています。過去に大学を卒業したOBや、学習ボランティアさんのお力添えを頂きながら、毎日勉強に励んでいます。時には模試試験の結果で一喜一憂もしますが、つばさの家のスタッフに相談しながら、自身で気持ちを駆り立てています。

元々、家庭では大学受験をしたいためにアルバイトも頑張っていたのですが、家庭のトラブルで中々受験勉強もできませんでした。来年の大学入学試験には、少年自身の想いが掛かっています。



つばさ旅行 今年も河口湖へ!

今年の9月に、つばさの家の旅行で河口湖へ行きました。新型コロナウイルスが依然として流行しているため、移動はマイクロバスで、宿泊先は民宿を貸し切りしました。

山梨のフルーツ狩りでぶどうをたくさん食べた後、フォレストアドベンチャー・フジのアスレチックでたくさん身体を動かしました。花火や温泉を楽しむこともできました。



↑ (民宿にて集合写真)

つばさの家には神奈川を出た事がない少年もおり、今回の旅行で緊張しながらも楽しんでくれました。勤労の日々の中に、少しでも楽しい時間を過ごして欲しいと共に、家庭ではできなかった経験をして、豊かな人生を送ってもらえたら。そんな思いで旅行を企画しています。

新型コロナウイルスの状況

2020年初め頃に新型コロナウイルスが流行し始めてから早3年が経とうとしています。つばさの家では今年の夏に二人の入居者が、新型コロナウイルスに感染しました。つばさの家で借りている近くのアパートに移ってもらい、それ以上の拡大には至りませんでした。幸い二人も高熱のみで大事にはいたりませんでした。

東京方面での仕事に勤めている少年も居るため、完全に感染を防ぐことは中々難しい状況です。また、日頃の感染予防はしつつ、少年たちにとっては生活の場なので、生活スタンスを変えるのも難しく、常にウイルスと隣合わせでの生活です。この間、抗原検査キットや、様々なコロナ対策の品物をご支援頂いた皆様には深く御礼申し上げます。



応援します！！ 「K's Root」 1周年！

つばさの家のスタッフであった塚原さんは、障がい福祉の事業所「K's Root」（ケーズルート）を立ち上げました。今年の11月1日で設立1周年です。藤沢の長後にある K's Root の見た目は、事業所というよりはカフェです。今回は K's Root にお伺いし、塚原さんと利用者の一人にお話を聞きました。

長後駅から歩いて2分、ビルの1階に K's Root があります。中に入ると、オシャレなソファとテーブルが並び、奥にはバーの様なカウンター席があります。メニューには、パスタやピザがあり、デザートにはサンデーや1~2ヶ月で種類が変わるケーキがあります。どれも自家製です。子ども連れの家族のお客さんもいらっしゃいます。



↑ (お店の内装)

K's Root は就労継続支援 B 型事業所です。就労継続支援とは、様々な理由のため企業などで働くことが難しい方が、事業所での作業を通じて、就労に向けた訓練や経験を積める福祉サービスです。K's Root の仕事内容は、主にカフェでの仕事と、アクセサリーなどの小物作りです。また、作業をしながら、利用者自身がやりたいことを見つけていく場合もあります。



↑ (自家製のパスタ)

つばさの家の OB の一人が、K's Root に通っています。週2回、カフェで調理補助や接客の仕事をしています。今まで経験しなかった接客ながらも、一生懸命メニューを聞いている姿が見られました。仕事は大変だが、K's Root に通うことによって、規則正しい生活を送ることができると話してくれました。

「社会との接点を持って欲しい」

代表の塚原健太さんはそう語ります。利用者が次の活力につながられるように、社会と関係を絶たないように、社会と関わって欲しい。そのために、お店の中での利用者への支援のみならず、病院や市役所へ同行、利用者の家族への支援など、事業所外での支援も行っています。

この様なエピソードを教えてくださいました。『被虐待体験を持ち、自身の誕生日に強いトラウマを抱え、恐怖から30年以上自身の誕生日を祝うことを避けてきた利用者がいます。しかし、自身のトラウマを乗り越えたいと K's Root で誕生日を祝って欲しいと希望され誕生日会を行いました。当日まで不安でまともな睡眠が取れなかったそうです。しかし、店内に大好きな曲がかかり、皆で乾杯をすると喜びのあまり涙を流し喜んでくれました。』この方を通し、つばさに関わることのできなかつた子達の未来を見たように感じたとのことでした。

お店の収益は、利用者の工賃になります。そのため、お店の利用は K's Root の利用者の支援につながります。長後に足をお運びの際は、是非 K's Root のオシャレな空間にお立ち寄り下さい。また、利用者の工作した小物類は店頭やオンラインショップで購入できます。



↑ (海の波のネックレス)

就労継続支援 B 型事業所 K's Root

◎営業時間：11:00~17:00 (日月お休み)

◎住所：神奈川県藤沢市長後 668-1 サザン長後 101

◎HP：https://www.ksroot.net/

小物等オンラインショップ (メルカリ)

https://mercarishops.com/shops/dPDiF29sooJJA6hNkMWxfM?source=shared_link&utm_source=shared_link



「道を拓く～地域の青少年相談所（青年期版自立援助ホーム）の開設に向けて～」

この度、長らく借りていたホームの隣にあった駐車場が売り出され、法人と相談し、思い切って購入しました。購入といっても、土地代も安くはありません。15年間経費を節約し続けて、いざという際の人件費積立、ホーム修繕費積立などを全て使い果たしてしまいました。

この仕事をしていく上で、かねてより痛感することがありました。それは法律では守れない制度の外にいる青年たちが、未だ家庭に居場所を無くし、親の暴力に苦しみながら生きている事実があるという事です。元々自立援助ホームはその様な法の狭間で苦しんでいる青年たちを何とかしようとボランティアで活動した事が始まりです。年月が経ち、法制度が整い、自立援助ホームは児童福祉法内の事業として確立しました。しかし法制度が整うという事は、例えば児童相談所が認めたケースでないと対象にならなかつたり、発見されたのが20歳を超えていればこれも対象ではなくなります。つまり自立援助ホームも法の枠組みが敷かれ、更に法からこぼれてしまう青年たちがいるという事です。

令和6年度から改正児童福祉法において、今まで児童相談所や施設養護にかからなかった地域の青年たちにも目が向けられるようになりました。家庭崩壊や虐待までではないが、家庭にいながら居場所がない青少年たちが駆け込める地域の社会資源は、従来児童家庭支援センターが担ってきましたが、その対象は18歳未満の児童であり、18歳以上の青年期を支える社会資源ではありません。まして緊急的に短期間でも住居を提供できる社会資源は、ホームレス支援をしているシェルターがありますが、主に高年齢の方が生活保護で利用している居住空間となります。何度かこの通信でお伝えしていますが、この国は青年期を支える法制度や社会資源が圧倒的に不足しており、自己責任を強いてきました。自立援助ホームをやっている、自立援助ホームで19歳まで支援出来たとしても、20代を居住付で支えられる青年期の社会資源は殆どありません。「なければ創る。」当所、自立援助ホームがそうであったように、法制度が整っていなくても、公的資金がなくても、必要としている青年がいるなら、まずはやってみる。その実践がいつしか認められ、制度が後から付いていけば良い。私は自立援助ホームでそう教えられてきました。

土地は用意出来ましたが、建物を建てる費用はこれから集めなければなりません。具体的に言えば2,000万円は必要となってきます。助成金も探していかなければなりません。社会に広く寄付を募っていかなければなりません。いつ集まるかも分かりませんし、実現出来るのかも分かりません。しかし道を拓くことは、後世に何等かの影響を与えるものと信じています。家庭で生活出来なくなった青少年が、年齢で区切られることなく、何度でもやり直す場があること。そんな社会資源がこの日本には必要なのです。

地域に開かれたスペースで料理をしたり、お菓子作りをしたり、地域の青少年が家庭や学校、職場以外で寄れる第三の居場所になること、時には家が煮詰まれば数日泊まれたり、20歳超えても中期的に住まいとして利用できること、スペースや人数は限られた小さな居住空間でもそのような社会資源の実現を目指して、地道に資金を貯めていきたいと考えています。それまでは駐車場として、ホームで活用させて頂きます。皆さまのご支援を頂けましたら幸いです。(前川)

ご支援ありがとうございました

ご支援頂いた方の氏名（イニシアル）及び品名（令和3年11月より令和4年10月末まで）

ボランティア (24名)	NS様、WC様、MK様、WR様、HN様、HK様、SH様、OM様、TK様、HK様、OH様、NK様、TA様、MK様、WM様、MJ様、SA様、SK様、MY様、AY様、KE様、MH様、OM様、KE様、茅ヶ崎地区BBS会
物品寄付 (116名)	K様（お米）、M様（お菓子）、G様（野菜・肉）、T様（お菓子）、S様（お菓子）、TY様（日用品）、KS様（フランス）、H様（お米）、K様（食品）、S様（洗剤）、GC様（ハム）、KT様（食品）、I様（野菜）、ST様（食品）、NM様（クリスマスお菓子）、IM様（野菜）、NT様（食品）、IS様（肉）、HA様（食品・日用品）、IK様（野菜）、YC様（お菓子）、GM様（食品）、IY様（落花生・食品）、DM様（お菓子）、IM様（みかん）、NN様（洗剤他）、IY様（冷凍食品）、KI様（ハム）、NA様（紅まどんな）、MT様（食品）、OK様（靴）、FM様（お菓子）、Y様（りんご）、S様（野菜）、F夫妻様（ラーメン）、I夫妻様（商品券・食品）、Y様（食品）、IS様（食品）、MN様（食品）F様（食品）、NC様（みかん）、KS様（りんご）、NH様（雑貨）、SM様（文房具）、OE様（本）、HK様（食品）、NA様（栄養ドリンク他）、MT様（衣類）、MR様（食品）、MY様（衣類）、OY様（食品）、YM様（みかん・お年玉）MF様（食品他）、S様（ラーメン）、匿名様（入浴剤）、NM様（肉）、SM様（日用品他）、NH様（クリアファイル）、I夫妻様（食品）、NC様（野菜）、SK様（伊予柑）、NT様（食品）、S様（おしるこ）、I様（食品他）、KK様（からあげ弁当）、HY様（食品）、F夫妻様（食品・雑貨）、TK様（食品）、M様（大福）、SY様（本）、M様（衣類他）、B様（食品）、M様（食器）、K様（野菜）、IM様（お米他）、T様（家電）、HN様（明太子他）、TK様（パン）、U様（ラーメン）、YM様（洗剤）、US様（わかめ他）、OY様（野菜）、YT様（甘夏）、ZA様（素麺）、F夫妻様（食品）、匿名様（タオル）、YB様（フルーツ）、SK様（鮭）、TA様（花）、SM様（さくらんぼ）、F様（座布団他）、HK様（お菓子）、IM様（さくらんぼ）、N様（野菜）OM様（野菜）、HM様（朝顔他）YI様（さくらんぼ）、SK様（切手）、MT様（調味料）、KJ様（モン・さつまいも）、MH様（食品）、IY様（食器）、A夫妻様（素麺）、MH様（スィーツ・お菓子）、MA様（ジュース他）、O様（スコーン）、H夫妻様（食品）、KE様（日用品他）、O夫妻様（お菓子）、YS様（パン他）、SY様（梨）、TS様（ゆず）、I様（衣類）、TY様（商品券・食品）、S様（お米）、HM様（お米）、
寄付金 (58名) ※定期寄付 含む	NR様、FM様、YI様、HA様、KS様、OE様、匿名様、MR様、SM様、KS様、F夫妻様、IK様、MN様、MT様、AY様、NK様、IA様、NC様、KK様、IK様、IK様、KM様、TR様、CS様、NT様、TN様、HT様、NH様、AK様、YH様、FT様、FM様、MM様、MT様、TI様、IM様、AY様、OA様、HT様、I夫妻様、DM様、TM様、KT様、IA様、NM様、AM様、GM様、NJ様、HM様、YM様、WY様、KI様、NN様、KN様、YB様、SM様、NC様、MK様
定期寄付 <物品> (14名)	K夫妻様（お米）、OY様（野菜）、OY様（天美卵他）、AS様（雑貨・食品他）、CA様（有機野菜・カーテン）、IK様（野菜）、NS様（食品）、YY様（ふるさと納税他）、HK様（食品・洗剤他）、MM様（フルーツ・かまぼこ）、TY様（フルーツ）、KM様（お菓子）、IA様（食品）、I様（食品他）
団体から <金銭、 物品> (49団体)	ホージャンイオンズ様、神奈川湘南ロータリークラブ様、NeoLive様、元気フォーラム様、イオン様、コストコ様、We21ジャパン寒川様、WE21ジャパンにのみや様、片瀬にここ広場様、カレンズ様、おてらおやつクラブ様、フードバンクかながわ様、わたぼうし様、セカンドハーベストジャパン様、カーブス様、藤沢地区更生保護女性会様、茅ヶ崎地区更生保護女性会様、神奈川県様、ふらっとパル様、龍源寺様、茅ヶ崎市民活動サポートセンター、相武台テニスコート様、藤沢市社会福祉協議会様、ゆりかご園、さざなみ様、PlantPitty様、南湖ハウス様、グレイ藤沢店様、ドミビルサ様、岩井の胡麻油様、タスカクワモティック様、コスモバンク様、熊澤商店様、雪松様、飯田高遠堂様、美容室あこ様、湘南ビル管財様、最明寺様、サン建設様、味工房様、喜楽会様、藤沢カトリック教会様、デイベイスふるさと様、影向寺様、善福寺様、寒川町民生委員様、パリュウ湘南様、おおいそ学園様、白十字会林間学校様

皆様からの多大なるご支援に心から感謝しております。繋がって頂けていることが最大のご支援だと思っております。何も出来なくて・・・と気にされる方もいらっしゃると思いますが、皆様と出会えたことに感謝しております。この1年はボランティアを希望される方が沢山来られました。関心を持って下さる事はとても嬉しく、皆様長く続けて頂いているのも励みになります。ありがとうございます。（知子）

支援の継続をお願いします!

いつもご支援ありがとうございます。自立を目指す少年たちを支えていくためには、皆様からのご支援の継続が欠かせません。ご支援を下さる方は当支援会の会員（無料）として、今後もつばさの家の活動報告をさせていただきます。

物品のご支援

食料のご支援は、いつも少年たちの食事に使わせていただき、活力になっています。現在は、「しょうゆやみりん、料理酒等などの調味料」、「サラダ油」が切れそうです。また、「お菓子」や「ジュース」が少年たちの休日の楽しみですが、最近不足しており、ご支援いただけましたら助かります。食後のデザートも楽しみにしており、「ゼリー、フルーツなどのデザート類」も嬉しいです。野菜やお肉、冷凍食品、納豆や卵などの日配品のご支援は大変助かります。定期的な食料のご支援も募集しています。

生活消耗品は、「トイレットペーパー」、「キッチンペーパー」、「洗濯柔軟剤」「食器洗剤」「サララップ」が切らしがちです。日々の娯楽としてみんなでできる「ボードゲーム」がありましたら幸いです。

新しく入居する少年を迎えるための「布団類（掛布団、敷布団、毛布、タオルケット、枕）」もご支援を募集しています。

経済的なご支援

ホームの足らざる運営費としてのご寄付は大変ありがたいです。（振り込み口座は表紙に記載しています。寄付控除の領収書も発行できます。）大学進学を目指す青年の入学金や、前述した隣地での青年期版自立援助ホーム開設費用など、どうかご支援頂けたら助かります。

<羽包みスポンサーを募集します！>

本通信は今回 700 部を印刷させて頂いており、印刷費が約 40,000 円かかっています。前回の通信で印刷費のご支援を頂いた方（匿名様）より、今回の通信の印刷費を再びご支援頂きました。いつもありがとうございます。メッセージを頂きましたので掲載いたします。

「今回も皆さまのお手伝いをささやかにすることができてとてもうれしく感謝の思いでいっぱいです。引き続き皆さまのご健勝とご活躍を願っております。」

来年もご支援頂ける個人様、団体様、企業様を募集しています。何かの記念に、節目に、お祝いに、スポンサーになって下さった方には紙面の一部にて広報させていただきます。（ご寄付の際、お申し出下さい）

（編集後記） 毎年春、つばさの家の庭にある木に、ピンク色の可愛らしいお花が咲きます。以前、支援者様が植えて頂いた木です。お花はカイドウという名前で、中国の美女である楊貴妃に例えられたそうです。